

北九州市民の会ニュース

第91回北九州統一メーデー成功に向けて準備が始まりました。

新型コロナウイルスが国内でも大きな広がりを見せ、相撲や野球、各種イベントが軒並みに中止や無観客試合、県内では全ての小中学校が休校になり、民主運動の分野でも多くの集会や会議が延期、中止となっています。このような状況の中、メーデー開催日の5月1日(金)まで2ヶ月を切りました。今後どのような状況になっても対応できるように、北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、事務局会議の開催を呼びかけ、3月6日(金)18時30分から地区労連事務所で開催しました。会議では、場当たりの新型コロナ対策、危機管理体制の強化、桜を見る会、加計学園での韓国籍受験者差別等など安倍政権をこれ以上続けさせることは日本国の破滅につながる等の意見が出され、メーデー開催に向けて準備を始めることを確認しました。この確認に基づき、第1回実行委員会を3月23日(月)18時30分から開くことを確認しました。

3・8国際女性デー ジェンダー平等へ前進の日に



きょう8日は国際女性デーです。国連は今年度の女性デーを「ジェンダー平等達成、すべての女性と少女に人権を保障する世界的な運動を起こす好機」「要の年」と呼びかけています。いま、女性たちが声を上げ社会を変える運動が、世界でも日本でも大きなうねりとなっています。世界の女性と手をつなぎ、さらに運動の前進をかちとる日にしていくことが重要です。

「男女平等の21世紀に」

国際女性デーは20世紀初頭の女性参政権を求める米国の女性たちの行動から始まりました。1910年、社会主義をめざす世界の女性運動の会議で、毎年あらゆる国で女性デーを実施することが決議されました。以来、「パンと権利と平和」をスローガンに1世紀を超えて、世界の女性のたたかいの中で受け継がれてきました。

日本では23年に初めて開催されました。世界の運動と連帯して女性の切実な願いと平等、くらし、平和の要求を掲げて全国で多彩な行動が繰り広げられています。

77年には、国連総会が「女性の権利と世界平和のための国連の日」と決め、世界的な取り組みとなりました。今年度の女性デーを前にグテレス国連事務総長は、「奴隷制や植民地主義が汚点であったように、21世紀においては女性が被る不平等を私たちはみな恥じ入るべきだ」「21世紀は男女平等の世紀に」と訴

平和とくらしを守る北九州市民の会
 〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F
 TEL093-592-5000 FAX093-571-4346
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>
 e-mail: koe@siminnokai.com

え、ジェンダー平等実現への決意を語っています。

昨年の女性デーでは、サッカー女子W杯で優勝した米国代表チームが男子チームの38%という賃金格差の是正を求めて行動を起こしました。スペインでは性暴力反対・禁止、男女賃金格差解消を求め約600万人が「女性スト」を行いました。母親たちが紛争の平和的解決へ声を上げたイスラエル、妊娠中絶の合法化を求めるデモに10万人以上が参加したアルゼンチンなど世界中の国々で女性が立ち上がり、社会を変える巨大なエネルギーを示しました。

日本でも、非正規と正規雇用との格差是正や消費税増税反対、軍事基地反対、改憲ノーなどで女性の運動が粘り強く展開されています。さらに性暴力、セクハラを許さないフラワーデモや#MeToo、入試差別の是正、職場での女性だけに対するパンプス強制を告発した#KuTooなど当事者が声を上げ、行動を開始したことは、世代を超えて女性たちから多くの共感を得ています。3日の参院予算委員会で、日本共産党の小池晃書記局長が「女性にだけ、パンプス着用を強制するのは性差別ではないか」と質問したのに対し、安倍晋三首相も「苦痛を女性に強いることは許されない」と明言しました。女性たちの声と運動が確実に政治を動かしています。

節目の年に力を合わせ

今年はジェンダー平等への重要な節目の年です。日本が女性差別撤廃条約を批准して35年、「ジェンダー平等」を強調した第4回世界女性会議（北京）から25年、ジェンダー平等を目標の一つに据えた「持続可能な開発目標」採択からも5年です。ジェンダー平等指数121位と世界から大きく遅れた日本で、この課題を飛躍的に前進させることが急務です。国際女性デーの歩みを引き継いで世界の女性と連帯し、平和と暮らし、切実な願いの実現、ジェンダー平等へ力を合わせましょう。（3月8日赤旗主張より）

「3・12全国統一行動」に呼応して

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は3月12日、「3・11回答指定日」をうけて「3・12全国統一行動」に参加しました。参加は、8団体12人と少なかったのですが参加者全員元気よく、通行する労働者・市民にアピールしました。行動は、永吉事務局長の司会で進められ、北九州市職労坂内書記次長、健和会労

組安達委員長、全教北九州大島執行委員、エフコープ生協労組長田副委員長、北九州地区労連



永富議長がそれぞれの単組の取り組みなどについて訴えました。回答状況は、医労連健和会労組、北九州福祉事業団労組、北九州地域ユニオン、特殊医療法人茜会、エフコープ生協労組などから有額回答が出されたとの連絡が入っていますが、まだまだ多くの組合は回答が出されてなくこれからの闘いとなっています。新型コロナウイルス感染症を理由とした様々な攻撃が想像される中、引き続き要求実現をめざし頑張っていかなければと決意を新たにしました。（堀田和夫氏FBより）

『平和と暮らしを守る北九州市民の会』 高齢者福祉乗車券署名推進ニュースを発行

「平和と暮らしを守る北九州市民の会」は、高齢者福祉乗車券の署名を成功させるため、各区や団体等の取り組みを紹介・交流して運動を進めるために、署名推進ニュースを出すようになりました。

市民の会参加各団体の取り組み状況や署名の集約状況、並びに市民の反応など随時ニュースでお知らせします。また、集会や宣伝活動などお知らせします。

《今後の日程》

第一次署名集約会議

3月31日(火)18時30分 戸畑生涯学習センター参加対象 各区民の会代表、団体代表

さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

3月20日、3月27日

4月3日、4月10日